

人とのふれあいを通して学んだこと

中山中学校生徒の米国テメキュラ市訪問と、大山中学校生徒の韓国襄陽郡訪問、町内小学生の沖縄県嘉手納町訪問の感想文を紹介します。

中山中学校生徒の テメキュラ市 ホームステイ研修

中山中学校の生徒4人が、8月7日から19日までの13日間米国カリフォルニア州テメキュラ市で、ホームステイ研修をしました。滞在中は主に姉妹校の中学校マルガリータ・ミドルスクールの生徒たちと交流し、友情を深めました。

あつという間の13日間



村本 美帆
(2年生)

私がアメリカに行つて感じたことは、人々がすごく積極的だということ。ユニバーサルスタジオに行つたときには、「カモン！」と言って色々誘ってくれ、私は何も気にせず、ありのままの自分が出せたと思いません。初めは不安でいっぱいだった私も、いつの間にかみんなと一緒に楽しく遊んでいました。

この13日間は長いようで短かったけど、友だちがたくさんできたし、色々な経験もできて夏一番の思い出になりました。できればまたテメキュラに行きたいです。

アメリカで過ごした日々



山本 彩
(3年生)

この海外研修は私にとっても良い体験でした。アメリカの人は細かいところまで気を遣ってくれて優しく、それにフレンドリーな人ばかりでした。初対面同士でもすぐ仲良くなれます。ホストファミリーと過ごす毎日はとても楽しかったです。1日中英語で話すけど、伝えようと思えば伝わります。これらは私にとつてとても良い思い出になりました。

テメキュラの思い出



金田 清貴
(2年生)

自分は英語が少し苦手でしたが、アメリカに行つてみ

心を感じる交流



光嶋 浩二 教諭

アメリカ研修について



奥田 真未
(3年生)

て、英語は大切だと強く感じました。どこを向いても英語ばかりで分からなかったけど、ホームステイ先の家族の方々に大変よくしていただき、楽しく過ごすことができました。ドジャースの試合観戦は、アメリカと日本の差を強く感じました。とても中身が濃く、とても楽しい13日間でした。

この研修で一番感じたことは、テメキュラの方々の心です。大山町からの友人を迎え入れる喜びを純粋に表現していました。これはこれまでこの交流事業に関わつてこられた方々が素晴らしい心のつながりを築いてこられた証拠だと思います。

この研修には多くの時間、労力、そしてお金がかかっていますが、そこから計り知れないほど大きな心の財産を得ることができました。そして、この関係をさらによいものにしていくために、これからも心の交流を続けていきたいと思っています。

私はこの研修でアメリカと日本の文化の違いをたくさん体験してきました。食文化、生活習慣、ものの考え方、物の値段、建物など違いがたくさんあり、毎日が驚きの連続でした。この驚きをすべて伝えるというのは無理だと思います。だからぜひ他の人にもこの驚き、楽しさを体験してほしいと思いました。

